

やはば

議会だよ

202

2017.10.16

岩手県
矢巾町議会



平成28年度決算認定

生きがいを持てるまちづくりに 2

予算決算常任委員会

代表質疑 事業成果を質す 6

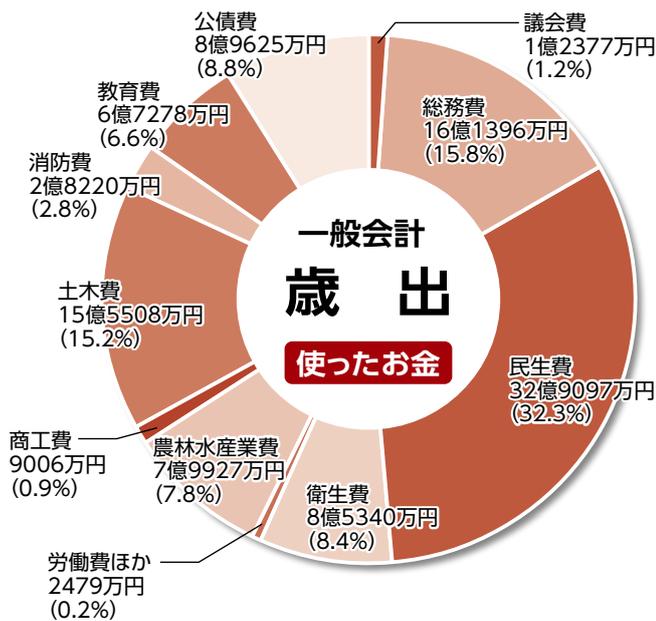
一般質問 町政を問う

災害時の連絡体制は 一般質問9議員 16

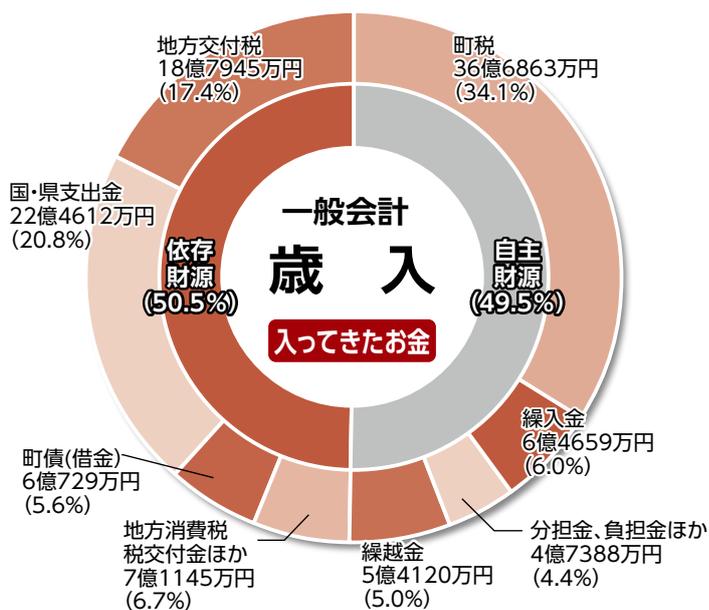
不動っ子の集い
(関連記事…P28)

る まちづくり

定例会9月会議は9月5日から21日まで開催され、平成28年度の決算を中心に補正予算、人事案件等を審議しました。決算および補正予算は、予算決算常任委員会で審査され、本会議においてすべての会計が可決されました。



102億 253万円



107億7461万円

グラフの用語解説

【歳入】

繰入金

基金からの取り崩し

分担金・負担金

保育料など、特定のサービスを受益する者から徴収するもの

【歳出】

総務費

庁舎、財産等の維持管理等のための経費

民生費

一定水準の安定した社会生活に必要な経費

公債費

借入金の返済に要する経費

一般会計歳出は前年度比3.7%減で約102億253万円となりました。予防接種等を行う衛生費は5363万円の増額、農林水産業費が5694万円の増額、スマートIC周辺道路整備や橋梁維持工事を行う土木費が約2億4319万円の増となっています。

一方で、教育費は昨年度21.1%の1億7942万円減額したほか、平成25年8月9日発生の豪雨災害に係る復旧工事が完了し、2億269万円の減額となっています。特別会計・企業会計については、4〜5ページのとおりです。

歳

町の主要事業を行う一般会計の歳入は、前年度比3.3%減で約107億7461万円となりました。

依存財源である地方交付税等が約4327万円の減収となる一方、自主財源である町

出

税が約1億972万円の増収となりました。寄附金については、ふるさと納税の順調な推移により前年度比32.3.1%、約1177万の増収となっており、今後の取り組みが期待されます。

歳

入

平成28年度決算認定

生きがいを持って



田園ホールにて盛大に音楽の町宣言(平成28年11月4日)

監査意見

魅力あるまちづくり推進に期待

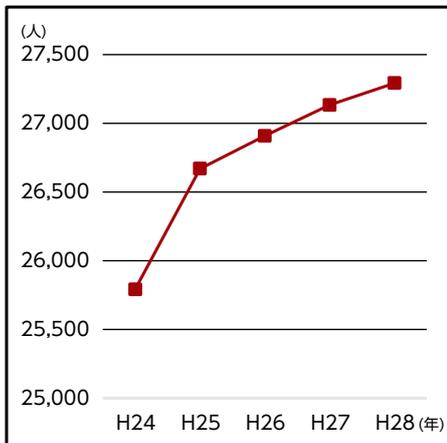
吉田 功 委員
長谷川 和男 委員

平成28年度の決算状況について、一般会計と4特別会計は、すべての会計において黒字決算となっており、実質収支額は、合わせて5億8796万円余を計上している。今後も引き続き効率的な財政運営が行われ、順調に推移していくことを期待する。

地方創生事業や矢巾SIC整備事業など、町民の期待や関心が高い事業が多く、費用対効果を十分に見極め、財政の健全性も意識しながら、着実に事業を展開されるよう望む。

岩手医科大学附属病院の開院までは秒読み段階となり、矢幅駅周辺や岩手医科大学を中心に新しい人の流れの創出が予想されることから、魅力あるまちづくりを推進されるよう期待する。

矢巾町 5年間の人口推移



平成28年度決算 特別会計…さらなる介護予防に向けて

国民健康保険事業特別会計

歳入 29億3566万円 前年度比 5.4%減

歳出 28億2573万円 前年度比 5.3%減

国保加入者への医療費や出産育児一時金給付等に使われました。

被保険者(5,232人)
1人当たり
54万86円

介護保険事業特別会計

歳入 19億4397万円 前年度比 0.5%増

歳出 18億6055万円 前年度比 1.1%減

65歳以上の方等への介護サービス給付費や介護予防事業に使われました。

被保険者(6,503人)
1人当たり
28万6106円

後期高齢者医療特別会計

歳入 1億7896万円 前年度比 4.4%増

歳出 1億7753万円 前年度比 4.5%増

75歳以上の方等の入院時の食事代や高額療養費等に使われました。

被保険者(3,053人)
1人当たり
5万8150円

矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計

歳入 6億7275万円 前年度比 62.5%減

歳出 6億5002万円 前年度比 63.7%減

矢幅駅西地区、駅前地区の整備事業に使われました。

町民(2万7,293人)
1人当たり
2万3816円

※1人あたりの金額は、平成29年3月末の人数から算出しました。



最終段階を迎えた矢幅駅周辺整備(やはばーく)

企業会計…水道事業が新配水場に着手

水道事業会計

収益的収入及び支出	収入 7億2024万円 支出 5億2320万円
資本的収入及び支出	収入 9386万円 支出 5億6499万円

下水道事業会計

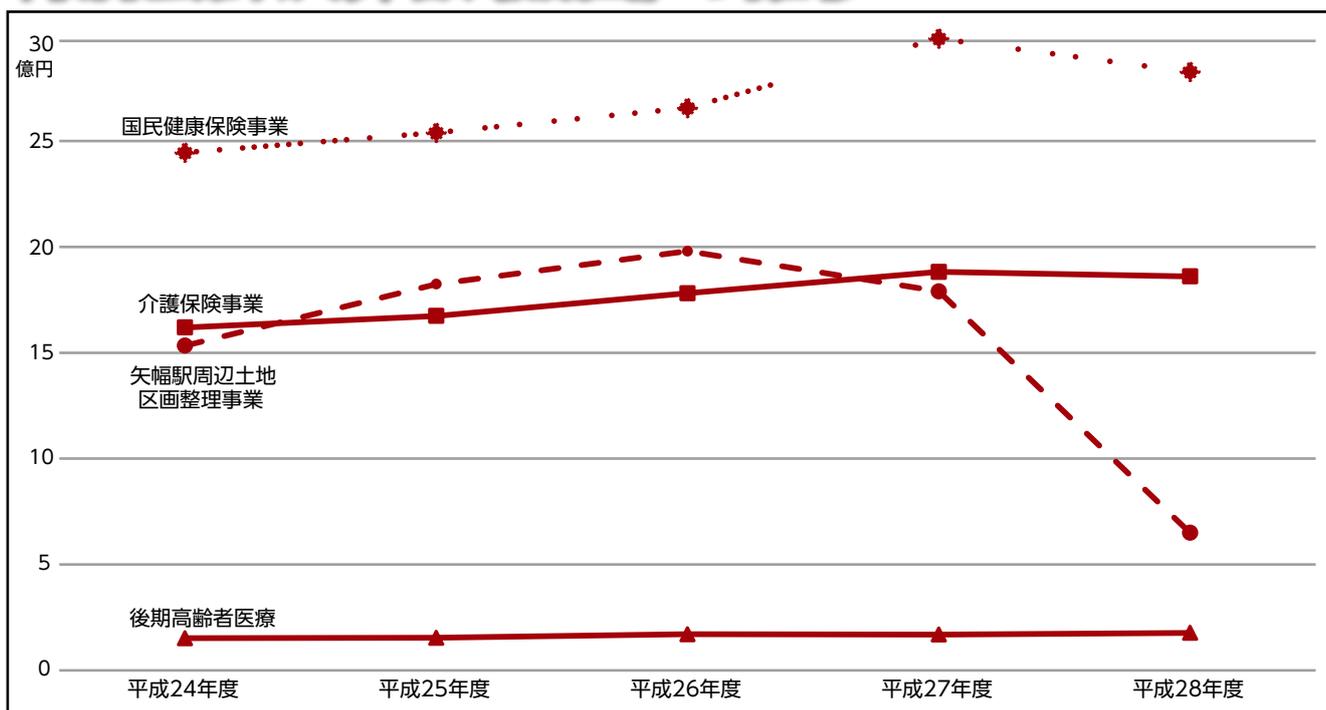
【公共下水道】 収益的収入及び支出	収入 6億7596万円 支出 6億1303万円
資本的収入及び支出	収入 7億9270万円 支出 10億1167万円
【農業集落排水】 収益的収入及び支出	収入 1億6926万円 支出 3億4340万円
資本的収入及び支出	収入 3億 51万円 支出 3億 690万円

水道事業、下水道事業ともに、収入が支出に不足する額は、減価償却などの現金の支出を伴わない損益勘定留保資金等で補っているんじゃ。

収益的収入及び支出は、1年間の営業活動によって生じる料金収入や施設管理の経費、資本的収入及び支出は、新しい施設整備の財源となる収入や、施設の整備にかかる工事費等のことだじゃ。



特別会計決算額(歳出)の推移



まちづくりの達成度は

一心会 川村 農夫 議員

質問 自然・都市と農村が調和するまちづくりの経緯と今後の取り組みは。

町長 平成27年度から医大移転とスマートインターチェンジ関連の事業を主に推進してきた。今後はその基幹に伴う道路整備などを進めていく。

質問 地域に根ざした活力ある産業のまちづくりの考えは。

町長 商工業の振興はスマートICの開業、岩手医科大学附属病院の開院を大きな契機と捉え、企業誘致等にいつも力を入れ取り組んでいく。

観光振興は花と緑を観光の柱とし、来年度以降の誘客を図るよう策定中である。

質問 平成28年度で取り組んだ安全で快適な安らぎのあるまちづくりの状況は。

町長 安全性の高いまちの形成に、盛岡広域の相談センタ

ーを設置し取り組んでいる。今後も住民の方が安心して相談できる体制を整えていく。

質問 安心で生きがいのある健康長寿のまちづくりと敬老会開催内容の見直し状況は。

町長 健康で長寿の秘訣はコミュニケーションである。何が生きがいか意見を聞き取り、今後の施策に反映させたい。

今年の敬老会は懇親の場を設定して喜んでいただいた。多くの方が参加する敬老会開催に努める。

質問 たくましく豊かな心を育てるまちづくりと、国際交流の在り方の考えは。

町長 これまではフリモント町との交流が主であった。ILCの誘致、東京オリンピックの開催、外国語授業が小学5年生からなるなど、今後外国との距離がより身近

代表 質疑

代表質疑とは、会派を代表した議員が施政方針などに対して行う質問です。主に決算を扱う会議にて行います。

本町では3名以上の交渉会派が行うこととしています。

9月会議では、委員長への通告があった2会派による代表質疑が行われました。



笑顔で顕彰メダルを受け取った中学生

住民サービスの向上につながったか

矢巾明進会 村松信一 議員

質問 機構改革について、相談のしやすい、やさしい窓口、親切な案内等、町民からは高い評価を受けている。

町長 職員の質的向上は日々の実践から培われるが、具体的な手法の周知をどのような仕組みで実践しているのか。

を意識し、各種施策について全員にわかるような指導を心がけ、住民サービスの向上を目指している。

質問 地方創生推進のため、プロジェクトチームとして取り組んでいるウエルネスタウン構想・ローカルブランディ

になってくることから、国際理解と外国語力が重要である。

質問 男女共同参画社会の推進についての考えは。

町長 女性教育連絡協議会等で意見を聞いた内容を町政に反映するよう努めている。

質問 これまでの職員による不適正な対応や事務処理等があり懲戒処分が出ているが、首長としてのけじめの考えは。

町長 これまでの不祥事に対し、お詫び申し上げる。

そのような事案が発生した際は、行政トップもけじめをつけ責任を取るべきと考える。



フリモント町の皆さんが7月に来町し交流を深めました

事業成果を質す

ングの効果と結果は。

町長 インターネットを活用した事業を中心として認知度が向上し、イメージアップが図られた。さらに参入企業の増加につながっている。

質問 子育て日本一の町を目指し取り組んでいる保育料助成・予防接種助成・子育てひろばの充実等の成果は。

町長 子育て支援には切れ目のない支援を行うための環境作りを充実させた。成果として子どもの数が増加傾向となっている。

質問 直播栽培は農業の省力化に有効であり、積極的な取り組みで作付けの拡大を図ることが必要である。

技術指導等の強化が求められており、相談体制の強化を図るべきでは。

町長 直播栽培は多くの利点があるが、概算金などが安くみられる傾向にあり、今後関係機関と協議を重ね直播の普及拡大に努めたい。

質問 学校図書室に司書が配置されている場合、国語・算数の学力が向上したとの結果がある。

児童・生徒の活用実態と読書と学力の関係をどう捉えているのか。

教育長 読書と学力は大に関係があり、本を読むことが重要である。

小学校では調べ学習に活用しており、そのほかにも漫画で読む歴史の本などを準備し利用向上を図っている。

中学校では読書感想文を書くための課題図書を配置し、利用を呼びかけている。

質問 青少年のスポーツ活動について、児童を対象にした様々な体験をさせるキッズスポーツセミナーの各種教育を開催している。

平成28年度は顕彰メダルを何人に授与し、現在どのような活躍をされているのか。

教育長 顕彰メダルの被表彰者は143人で、その後は更なるレベルで活躍している児童生徒が多い。

徹底

予算決算 常任委員会 検証

決算審査は、議長を除く17人の委員で構成される予算決算常任委員会(山崎道夫委員長)で審議しました。

一般会計

財政

藤原(由) 地方交付税の交付が県内で2番目に低いのではないかと。

企画財政課 財政力指標が本町は高く、交付税が少ないのが現状である。他に何か方策がないか研究する。

藤原(由) パストラルバーデンの支払い状況は。

総務課 平成30年度で支払い終了となる予定である。

廣田(清) パストラルバーデンの支払い終了後の固定資産税は。

税務課 登記変更後は、不動産所得税も含めて固定資産税

は所有者が支払うことになる。

廣田(清) 地方消費税交付金は、町内の消費と連動するののか。

企画財政課 国の消費全体が対象で、国からの交付となる。本店と支店の数や人口・従業員数なども考慮される。

総務・防災

川村(農) 災害協定が締結されているが、協定相手とのその後の打ち合わせ等ほどの程度行われているのか。

総務課 県の防災訓練などの機会を捉えて連携している。

赤丸 空き家対策の状況は。
企画財政課 空き家調査は完了している。

すぐに対応するためにも条例の整備を進めていく。



自主防災組織が参加した救命訓練

藤原(梅) 防災ラジオの配備計画は。

総務課 避難行動要支援者な

どを中心に無償で1500台分の貸与を予定している。

昆 本町の情報公開度が県内で26位となっており、情報公開が進んでいない。
今後の取り組みは。

総務課 各条例の中で、情報公開を町内に限定している部分があり、条例の改正をしなければならぬ。

藤原(由) 企業などでは、防災士の資格を所有する幹部職員が多くいるが、考えは。

町長 視察先の愛媛県のスパーなどでは、資格を取得している責任者が多い。職員2人の資格取得を計画している。

廣田(清) 全国的には地方創生交付金が首都圏の会社に3割流出していると言われているが、本町の現状は。

企画財政課 8000万円のうち4400万円は東京のコンサルティング会社に支払っている。

産業・建設

藤原(梅) 雇用促進住宅には現在被災者が入居しているが、今後の状況は。

産業振興課 民間へ売却が決まったが、被災者用として利用は続けられる。

高橋(七) インターンシップでの高校生と受け入れ先の感想・意見は。

産業振興課 高校生からは、



もち米の作付けが多い不動地区

「働く心構えが変わった」等の意見があり、受け入れ先からは、受け入れ準備にどのようなものが必要なのかという事前準備についての問い合わせがあった。

藤原(梅) もち米から銀河

のしづくへの作付け変更は除草剤等の費用負担が増えるが、助成の考えは。

町長 JAとも協議して前向きに検討する。

高橋(七) 農業の後継者育成施策をどのように考えているか。

町長 農業は町の基幹産業である。農業ビジョンの見直しとともに、雇用の確保という面からも力を入れていきたい。

藤原(義) 任意組合の中心

的農家で、認定農業者制度要件を満たすことができない場合があるが、考えは。

産業振興課 個々のケースごとに問題を解決していきたい。

藤原(梅) 農産物のPRを

ふるさと納税と結び付けては。返礼品としてのPRもしていきたい。

高橋(七) 生活道路の要望

が多く出ており、もっと改修を進められないのか。

道路都市課 要望の件数については承知しており、予算要望もしている。財政と相談しながら進めていきたい。



改修が予定されている前郷住宅(高田地区)

藤原(由) 逆堰の中州除去

については、下流からやるべきではないのか。

道路都市課 基本は、下流からやるものだが、予算の関係でできることからやっている。今後はできるだけ下流からやっていきたい。

赤丸 生活道路の整備が

52・2%だが、今後を期待したい。

道路都市課 整備のパターン

が、現状舗装や新設舗装、協働の道づくりがあり、どう整備すればいいのかを考えながら進めていきたい。

小川 今後の町営住宅整備の考えは。

町長 町営住宅だけではなく、県営住宅も視野に入れて考えていきたい。

道路都市課 全体的なプランニングをしながら考えていきたい。

福祉環境の充実に向けて

福祉・環境

昆 町独自のマイナンバーカードの利用策はないのか。

住民課 町独自ではないが、来年6月からはコンビニで住民票や戸籍が取れるようになる予定である。

昆 移動支援事業を通勤や通学などに利用できないか。

福祉・子ども課 国の規則もあるが、今後現状を見ながら、より良い事業としていけるようにしていく。

昆 福祉タクシー券の利用率が61%ほどであるが、アンケートを行って、利用率を高めようか。

福祉・子ども課 良いアイデアだと思うのでやってみよう。

川村(よ) 在宅老人配食サ

ービス事業の利用数は。

健康長寿課 1人に対して600円の弁当に250円の補助を行い、平成28年度は24人の利用があった。

赤丸 市街地での鳥獣被害で苦慮しているが対応は。

住民課 町でも個々に相談のり、所有者との対応を図っていくが決定的な対策はない。

高橋(安) 現在、保育園入園待機児童は何名いるか。

社会教育課 4月以降の入園希望者で、35名のうち0歳児が20名おり、保育士が3人に1人必要なため、全ては受け入れできない状況である。

高橋(安) 保育ニーズの高まりがあり、定員の見直しをどう考えているか。

福祉・子ども課 来年度から、



共同調理場で作られている安全でおいしい学校給食

教育・文化

2保育園で定員を30人増す予定であり、60人の新規保育園と併せ、90人の増員を予定している。

昆 ことばの教室の利用状況はどのようになっているか。

学務課 未就学児12人の利用となっている。小学生についても12人の利用で不動小学校を拠点に煙山・徳田小学校にも巡回を行っている。

藤原(由) 徳田小学校の移転改築を平成28年度に協議されたか。

教育長 具体的な協議は無かったが、徳丹城史跡をどのようにするかが、先決課題と捉えている。

廣田(清) 学校給食で、アレルギーのため食べられない分の食材費はどうしているか。

学校給食共同調理場所長 牛乳などがあり、購入費用を年度末に保護者へ返還している。

昆 図書センターには空いている書棚が多くあるか。

社会教育課 平成28年度末で4万5600冊の蔵書があ

り、徐々に9万冊にしていく。平成29年度は1000万円の予算で購入。

特別会計

川村(よ) 健診後に治療の必要があると通知を受けた児童生徒について、受診しない理由は把握しているか。

学務課 正式な理由は調査していないが、日常生活に支障がない、部活動で忙しい、保護者に通知を見せていないなど多様な理由があると聞いている。

齊藤 やはぱーくへの運営は見込み通りにいっているのか。

道路都市課 サービス内容などを検討しながら、5年ごとの見直しを進める予定としている。なお、修繕については30万円までは指定管理者で行うこととしている。



町産食材を使用したメニューを提供する
やはぱーくのカフェ 888(ヤミィ!)

昆 認知症サポーター数を第7次総合計画では、平成31年度までに4000人と目標を立てているが、現状は。

健康長寿課 現在のサポーター数は3796人となっており、目標までの残り204人は達成できるものと思われる。

小川 矢幅駅周辺区画整理事業も最終段階を迎えており、費用対効果を検証する必要があるのではないか。

町長 しっかり検証を進めていきたい。

やはぱーくを中心とした市街地整備を図っていきたい。

昆 健康データの貸出事業の内容は。

健康長寿課 岩手医科大学へ、国民健康保険加入者国保連のデータを、疾病予防に役立てるため提供している。

川村(よ) 国民健康保険制度の広域化に向けた準備の状況は。

住民課 平成28年度はシステムの整備、平成29年度は県と



矢巾東小学校北側に建設中の新配水場

企業会計

高橋(七) 水道の老朽管布設替え状況は。

上下水道課 平成28年度は計画通りに行われ、現在は40.9%の状況である。

昆 新配水場の建設状況は。

上下水道課 順調に工事が進んでおり、配水池は今年度末に完成予定である。

市町村を結ぶシステムの構築を行っている。
保険料については国の方針を受け、12月に県が決める。

米倉 当町の出生率は。

住民課 平成27年度は1.47であり率は上がっている。

医療費助成等、若い人たちにも受け入れられるような福祉政策を進め、人口増につなげていければと思う。

審査報告

予算決算常任委員会委員長 山崎 道夫

ふるさと納税で町の活性化と財源確保を

- 付託された決算議案について、次の通り附帯決議を付して議長へ報告しました。
- ふるさと納税について、町の活性化と財源確保のため、積極的に取り組まれない。
- 農業所得の確保に向け、水田フル活用ビジョンの推進を図り、地域振興作物の栽培支援に取り組まれない。
- 「銀河のしずく」への栽培転換に向け、技術指導及び諸費用の支援策を。
- 生活道路、通学路及び街路灯の早期整備を。
- 保育園施設の充実を図るとともに、保育士の確保と待遇改善に努められたい。
- 子育て世帯が、安心して子どもを産んで育てられるよう、第2子以降の保育料無料化の検討など、子育て支援策を図られたい。
- ゆとりのある教育を目指し、教職員の多忙化改善を。
- 日本一健康なまちを目指し、介護予防に力を入れ、医療・介護の連携等、地域包括ケアシステムの構築を。
- 特定健康診査の受診率向上に向け、町民の意識啓蒙を図るため、高知県の健康パスポート事業など、新しい発想で取り組まれない。
- 健康増進のため、ナト・カリ食品の普及と新たな商品開発の支援、販路拡大を。
- 公共施設の老朽化対策は、早急に管理体制と対策を構築し、中長期的な計画により遅滞なく取り組まれない。
- 安全安心な防災体制の構築と防災ラジオの普及に努め、防災に万全を期されたい。

町民生活重視を

駅前開発に続き、スマートインターチェンジ、岩手医大前中央1号線と大型事業が続いており、生活道路や町営住宅の改修、防犯灯の設置等町民の生活に直結する分野が遅れたまま推移している。国保の短期保険証は特にも子どもがいる世帯には渡してもらいたい。

以上のことから反対する。

小川 文字

未来を描くにふさわしい

地方創生事業の明確化や、多くの公共既存施設の長寿命化に向けての課題はあるが、町民の要望を重視し、福祉・医療の充実に向けた民生費・衛生費や農林水産費・土木費の増額は、高橋町政の成果である。

未来を描くにふさわしい平成28年度事業を評価し、全決算認定に賛成する。

藤原 由巳

反対

討論

賛成

国保税の引き下げを

長期の開発優先政策により住民の福祉・暮らし・教育及び憲法13条の人間らしく生きる権利・幸福追求権が軽視されている。

国保会計では高すぎる国保税を一般会計から法定外繰入で引き下げるべきである。介護保険会計では、サービス利用料の軽減を求める。

以上のことから反対とする。

川村 よし子

着実に進むまちづくり

施政方針で説明のあった「町の将来像の実現に向けた7つのまちづくりの方針」に沿い、着実に事業が進められており、がん検診では25人の罹患者が発見されている。

決算においても、財政健全化比率は全会計において基準を下回っており、健全な財政状態であることから、決算認定に賛成する。

水本 淳一

町デイサービスセンター財産処分を可決

入所待機者



解消に向けて前進

8月9日に開催された8月会議では、工事請負契約の締結が2件議決されました。また、9月5日から開催された9月会議では一般会計、4特別会計、2企業会計の補正予算が議決され、一般会計の総額は119億4319万円となりました。

8月会議

工事請負契約

町道堤川目線田尻橋 橋梁架替工事

矢巾スマートインターチェンジ関連周辺道路整備事業です。町道堤川目線の改良・拡幅に合わせて、芋沢川に架かる田尻橋の架け替え工事を1億5768万円で行います。

質問 工期はいつまでか。また、工期中は全面通行止めとなるのか。

回答 工期は平成30年3月25日までで、全面通行止めで工事施工予定。

町道猪去中央線 改良舗装工事

町道中央1号線と町道猪去線を結ぶ路線の舗装工事を約5065万円で行います。本工事と合わせて歩道の整備を行うことから、通学路としての利用が可能になります。

質問 将来的に矢巾中学校までつながる構想はあるか。

回答 未改良道路があるが、町道白北線まで進める計画であり、地権者の方とも協議を進めていきたい。猪去中央線西側は改良の予定は現在ない。



入所型施設へ転換されるデイサービスセンター

9月会議

人事案件

固定資産評価委員の選任



高舘 精記さん 新
(西徳田2区)

任期は平成32年9月17日までとなります。

財産処分

町デイサービスセンターの建物を、社会福祉法人敬愛会へ譲与します。

町デイサービスセンターは本町初の通所介護施設として事業を継続してきました。

今回の譲与により、特別養護老人ホーム入所待機者解消のため、隣接している社会福祉法人施設悠和荘の一部として入所型施設への転換を計画しています。

運動不足 解消に一役

議会で決めたこと

補正予算

主な内容は次のとおりです。

主な歳入

- ▽一般寄附金(ふるさと納税) 2040万円
- ▽地域介護福祉空間整備等 交付金 730万円

主な歳出

- ▼町づくり事業 1545万円
- ▼介護サービス施設等 整備事業 730万円
- ▼観光資源開発事業 443万円
- ▼農業研修施設事業 405万円
- ▼農業振興地域整備促進事業 398万円

スプリングクラー設置

質問 介護事業所「むつき」へのスプリングクラー設置について、対象の福祉施設はどのように選定したのか。

回答 法改正により小規模多



屋内体育施設に改修される室岡の農村環境改善センター

機能型居宅介護事業所にもスプリングクラーの設置が義務付けられたため、今回設置されることとなった。

PRにフラッグ設置

質問 矢幅駅から岩手医大附

属病院までの街路灯設置の具体的な内容は。

回答 現在の駅前ロータリーのように、PR用フラッグの取り付けられる形状で、歩道の車道側への設置を予定している。

農業振興計画見直し

質問 農業振興地域整備促進事業の内容は。

回答 矢巾農業振興地域整備計画を見直すため、事前に農地の利用状況や面積の確認を行う。

また、町地図情報システムへの情報追加作業を委託する。

スポーツでも利用

質問 室岡の農村環境改善センターはどのような工事をするののか。

回答 町内の屋内体育施設が不足している状況もあることから、カーペットをはがし、スポーツ施設として利用できるようにする予定である。

ひまわり畑の拡大

質問 観光資源開発事業内での工事とはどんな内容か。

回答 煙山のひまわり畑に係るものである。畑の敷地内にある石や雑木の撤去を行い、ひまわり畑の景観保持と面積の拡大を行うものである。

各議案の採決状況

平成29年定例会 8月会議

議案番号	提出議案	議員名														採決結果					
		赤丸 秀雄	水本 淳一	廣田 清実	高橋 安子	齊藤 正範	村松 信一	昆 秀一	藤原 梅昭	川村 農夫	山崎 道夫	高橋 七郎	長谷川和男	川村よし子	小川 文子		藤原 由巳	藤原 義一	米倉 清志	廣田 光男	
第46号	町道堤川目線田尻橋樑架替工事請負契約の締結 …広宮沢地内 町道堤川目線田尻橋（芋沢川）の架け替え工事	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第47号	町道猪去中央線改良舗装工事請負契約の締結 …北郡山地内 四郎兵衛橋から北郡山産直の間の道路舗装工事	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

平成29年定例会 9月会議

第48号	固定資産評価審査委員会の委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第49号	地区計画等の案の作成手続に関する条例の一部改正 …都市計画法施行令の一部改正に伴う所要の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第50号	地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部改正 …主任介護支援専門員の定義の改正し、5年以内ごとに更新研修を受講することを定めた。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第51号	財産の処分に関し議決を求めること …矢巾町デザインサービスセンターの建物を譲渡	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第52号	一般会計補正予算（第4号） …約8億3127万円の増額	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第53号	国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号） …約9302万円の増額	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第54号	町介護保険事業特別会計補正予算（第1号） …約6340万円の増額	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第55号	後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） …143万円の増額	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第56号	矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号） …約2572万円の増額	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第57号	水道事業会計補正予算（第1号） …収益的費用に約294万円の増額、資本的支出に約19万円の増額	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第58号	下水道事業会計補正予算（第1号） …公共下水道収益的支出に約453万円の増額、公共下水道資本的支出に1220万円の増額	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第59号	平成28年度一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第60号	平成28年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第61号	平成28年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第62号	平成28年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第63号	平成28年度矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第64号	平成28年度水道事業会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第65号	平成28年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第66号	平成28年度下水道事業会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第67号	町道白北線交通安全施設整備その2工事請負契約の締結 …北郡山から矢巾中学校までの道路へ歩道設置工事	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第68号	町道路線の廃止 …スマートインターチェンジ関連道路の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第69号	町道路線の認定 …スマートインターチェンジ関連道路の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議案7号	私学教育を充実・発展させるための意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議案8号	全国森林環境税の創設に関する意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○=原案に賛成 ●=原案に反対 欠=欠席 可=可決 同=同意 認=認定

議会で決めたこと

森林は、地球温暖化の抑制や国土の保全、水資源の涵養、貴重な野生動物植物の生息、自然環境の保持など多くの公益的な機能を果たしている。しかし、実態は木材価格の低迷などにより保育間伐等の育林経費が確保できず、森林が放置される悪循環にある。地球環境と国土保全の観点からも、森林や山村地域の維持発展を担う地方の取り組みを、国民全体で支える制度の確立が重要であるとする本陳情の趣旨は理解できるものである。

採 択

賛成14・反対3

審 査 意 見

みなさんからの陳情

▽「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情者

全国森林環境税創設促進議員連盟
会長 板垣 一徳



10月1日に新コースで開催したロードレース大会

一般質問

一般質問とは、議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い政治姿勢を明らかにするものです。
9月会議では9人の議員による一般質問が行われ、活発な議論が展開されました。

●村松信一議員……………P17

- ①矢巾町公共施設等総合管理計画

●赤丸秀雄議員……………P19

- ①災害対策
- ②いじめ防止対策の取り組み
- ③今年の敬老会の運営と準備内容

●齊藤正範議員……………P21

- ①矢巾町まち・ひと・しごと創生総合戦略の取り組み
- ②徳丹城史跡
- ③ひきこもりの支援策

●小川文子議員……………P23

- ①子どもへの虐待
- ②矢巾スマートインターチェンジ関連道路の見直し
- ③火葬場使用料値上げ

●藤原梅昭議員……………P25

- ①セーフティ・ファースト（安全安心）なまちづくり
- ②第7次総合計画での土地利用
- ③スマートインターチェンジ及び岩手医科大学附属病院開業を控えた当町の交通網形成

●昆秀一議員……………P18

- ①環境美化の考え方
- ②社会保障制度
- ③いじめ防止対策

●水本淳一議員……………P20

- ①ひまわり畑と町のシンボル「花・鳥・木」
- ②農業振興地域の人口対策と宅地利用
- ③矢巾スマートインターチェンジの整備に係る費用負担

●山崎道夫議員……………P22

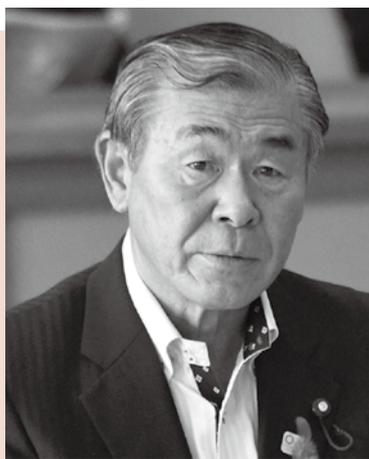
- ①都市計画マスタープランの見直しと、地区計画制度の活用による土地利用計画の推進
- ②コメの直接支払交付金廃止に伴う影響と持続可能な農業への支援策

●川村よし子議員……………P24

- ①国民健康保険制度の広域化
- ②介護保険制度の見直し
- ③安全な通学路整備

※次ページからの各議員の質問と答弁は、紙面の都合上、内容を要約して掲載しています。
詳しい内容は、議会事務局にお問い合わせください。

町民温水プールの建設を 利便性も併せ検討



むらまつ のぶかつ
村松 信一 議員
(矢巾明進会)



学校プールには緊急時の防災機能も期待される(矢巾中学校)

質問 小中学校・南昌グリーンハイツのプールは老朽化が進んでいる。これを段階的に廃止し、学校施設・町民スポーツ施設・健康増進施設のほか、災害時に水の確保もできる、全天候型温水プールとして統一し、道の駅と同一地内に建設を検討してはどうか。

町長 既存施設との統廃合・複合化など総延床面積の縮減が達成され、利便性が向上する場合には建設を検討する。

質問 今年度末、矢巾中学校水泳部が廃部となる。授業での使用以外の時間帯に照明設備を完備した上で中学校プールを町民に開放してはどうか。

教育長 新しい発想であり検討したことはないが、照明装置を設置する場合、多額の費用を要することから一般開放については現在考えていない。

質問 今後、少子化を迎え老朽化のため修繕を要する小学校プールを廃止し中学校プールを小・中学校併用とし、活用してはどうか。

教育長 貴重な提案であるが、身近な学校にプールがあることで、児童の水泳に対する意欲がわく。このことから現在は中学校との併用は考えていない。

質問 南昌グリーンハイツは7月に約2週間臨時休業したがその理由は何か。

町長 プールの水位低下があり、安全の確保を最優先し漏水調査を実施した。周辺に異常が見られなかったため、陥没等がないかを毎日確認することとし営業を再開した。

質問 不動小学校の校庭の水はげが悪く運動会等に支障をきたしている。把握はいつからしていたのか。

教育長 数年前から把握していたが、予算措置ができず修復できないでいた。今後早期に措置できるように努めたい。

質問 矢巾町農村環境改善センターを一部体育施設に改修するが、使用料や町民への周知はどのように考えているか。

町長 多目的ホールでバドミントン・バレーボール・卓球等ができるように改修する。使用料については土橋の改善センターを参考に決め町民周知は広報等で徹底したい。

ポイ捨て禁止条例制定を マナーの向上から取り組む



こん 昆 秀一 議員
(一心会)



PTA親子窓ふきで環境美化に取り組む矢巾北中学校の生徒

質問 年に2回町内一斉清掃が行われているが、たばこの吸い殻などのごみが多いと感じる。ポイ捨て禁止条例を制定する考えはないか。

町長 条例を制定する前に、まずはマナーの向上から取り組んでいきたい。

質問 役場庁舎の清掃業務をシルバー人材センターに委託する考えはないか。

町長 シルバー人材センターには、小規模なところは今までもお願いしている。

役場庁舎に関しては大規模なものになるので、今後検討・協議していきたい。

質問 教育において、清掃活動の役割をどう捉えて指導を行っているのか。

教育長 清掃活動を通じ環境美化に取り組むことで、働くことの意欲を高めるといふ役割があると捉えている。

その中で、積極的に協力し合い取り組むように指導している。

社会保障の 取り組みは

地域包括ケアで 住民福祉増進を図る

質問 社会保障制度の仕組みが変わり、セーフティネットの網の目が広がっているよ

うに感じる。今後、町としてどう取り組んでいくのか。

町長 これからますます医療・介護の連携が重要になってくる。地域包括ケアシステムでその役割を果たし、住民福祉の増進につなげていく。

いじめ防止 方針見直しは 国の方針を反映 させて見直した

質問 国のいじめ防止基本方針が見直されているが、町としての対応は。

教育長 国のいじめ防止等のための基本的な方針が見直されたことにより、町のいじめ防止基本方針も見直しをした。

質問 町内各学校に専門家であるスクールカウンセラーの配置ができないか。

教育長 専門家を配置したい思いはあり、県にも要望はしているが、スクールカウンセラーの数が少なく配置ができていない。



あかまる ひでお 議員
赤丸 秀雄 (一心会)

災害時の連絡体制は ホットラインで常時連絡が可能

質問 全国的に集中豪雨による災害が発生して、多大な被害が出ている。町の災害対策・データ把握・伝達や停電時の対応、災害対策組織との連絡体制に問題はないか。

町長 災害想定に防災マップの作成、4河川へ監視カメラ設置や庁舎屋上・南昌山など6カ所に雨量計を設置しており常時モニタリングができる。停電時は12時間以上非常電源が可動して電話やインターネット利用が可能であり、災害対策組織とは災害用電話3台とホットライン回線により常時連絡が可能である。北上川水位情報もタイムリーに把握できる体制をとっている。



新しく3地区で開催された敬老会

いじめ防止対策 取り組みは

思いやりに

重点を置く

質問 いじめ防止対策に関する

る条例制定後、児童生徒に意識の変化は見られるか。
また現在、いじめ防止のために重点的に取り組んでいることは何か。

教育長 「思いやり」「人のかかわり」に重点を置いて日常生活を充実させ、いじめの

未然防止を図っている。
また、生徒同士が「君」「さん」付けて呼び合うようになった点は意識変化によるものと考えている。

多くの方が参加 できる敬老会に 参加者の意見を 踏まえる

質問 今年の敬老会全体の参加予定者数と、送迎を希望する人数はどれくらいか。

町長 不動・徳田・煙山の3会場合わせて495人である。そのうち144人が送迎を希望している。

質問 昨年の倍以上の参加者であり、懇親の場と会場との送迎に配慮した結果と思う。今後も多くの方が参加できるように開催内容の継続を強く要望する。
町長 今年の開催状況と参加者の意見などを踏まえ、今後敬老会の継続開催に努める。

町のシンボルを観光に 稲荷街道松並木周辺をPR



みずもと じゅんいち
水本 淳一 議員
(町民の会)

質問 町のシンボル「ゆり・かつこう・まつ」が選ばれた経緯は。また、周知の考えは。

町長 全世帯アンケートを行った結果をもとに協議を重ね、昭和51年に制定された。

花は、ゆり、ひまわり、菊の中から、花言葉の純粹という意味と柔和のイメージで決まった。鳥は、初夏を告げる声の明るさから、木は、赤松林が多いことで選定された。

シンボルの一つである松については、稲荷街道松並木の周辺を整備し、ひまわり畑とともに、周知を強化していく。

質問 ひまわり畑の活用について、構想は。

町長 今期、来訪者が1週間で1万人を超え、本町最大の



ひまわり畑西側に隣接する稲荷街道松並木

集客力を持つ観光資源である。規模の拡大・施設の整備と併せ効率的な運営方法を確立し、イベントの開催などで通年利用を図る。広くアピールできる観光の柱とし、多くの方々に親しまれ愛される場所となるよう事業を進めたい。

**人口・空き家
対策は
全国自治体との情報
交換で課題を解決**

質問 減り続ける農業振興地

域の人口対策と空き家対策は。

町長 少子高齢化は町内全域に共通する課題であり、現在は特定の区域のみに重点を絞った人口対策は考えていない。

全国空き家対策推進協議会で、全国の自治体間の情報交換をし、国へ働きかける。

**スマートーC
費用負担は
総額18億円の
見込み**

質問 矢巾スマートインターチェンジ（IC）の整備に係る費用を広域負担にしては。

町長 「スマートインターチェンジ 高速道路利便増進推進事業制度実施要項」に基づき、本町が主体となって設置を発意したものであり、費用負担は要綱の負担区分によって事業が行われるものである。

費用については、矢巾町が約3億2000万円、岩手県が約1億8000万円、東日本高速道路株式会社が約13億円の見込みである。

総合戦略の事業実績は 利子補給事業で転入者が増



さいとう まさのり
齊藤 正範 議員
(矢巾明進会)



26,745名の観衆へ町をPR 8月10日開催の矢巾町ナイター(仙台市・Koboパーク宮城)

質問 矢巾町まち・ひと・しごと創生総合戦略は平成27年からの5カ年の政策目標を設定し、本町人口ビジョンの実現を目指し策定している。中間期を迎えた現時点での実績と成果について問う。

町長 健康と医療、すなわち

「ウェルネス」に関する地域の強みを生かした雇用創出事業及び、町全体のブランド力のPR事業の2事業を主要事業と位置づけ取り組んでいる。その事業では、住宅取得利子補給を利用した転入者により140人の人口増や、Koboパーク宮城でのイベントで町のPRを実施、全国の皆様から多くの反響を得ている。

質問 事業を検証し改善などを行うこととしているが、どのような検証・改善をしたか。

町長 本年、岩手県立大学の支援を受け、専門的な知見を得て、進捗状況を検証したいと考えている。

徳丹城周辺の 活性化は

周辺に人が集まる 魅力ある整備が必要

質問 今年、徳丹城周辺の活性化に向けて、地域の関係者による徳丹城周辺活性化推進協議会を設置し、調査研究を

開始した。

しかしながら、史跡指定区域内の整備活用は多くの制限があり、構想にも限界がある。教育委員会のみならず、関係課によるプロジェクトチームを設置し、対応する考えはないか。

教育長 整備は、史跡の価値を分かりやすく表すものに限られているなどの制限がある。史跡徳丹城跡をPRするためには、周辺に人が集まる魅力ある環境整備が必要と考えている。

史跡周辺の整備については、地元で設置した協議会とともに内容を協議しながら、進捗状況に併せてプロジェクトチームについても検討したい。

質問 町の「道の駅」構想として、候補地2カ所と平成31年度の事業策定が報道されたが、内容を問う。

町長 平成30年に設置場所を選定し、翌年に事業計画策定することができるよう、先進地施設の調査も含め、研究している。

地区計画で土地活用の推進を 今年度中に活用計画を示す



やまざき 山崎 議員
みち お 道夫 (一心会)

質問 市街化調整区域のまま、一定の開発・建築が可能となる地区計画制度を活用し、定住化対策をはじめとする町の活性化を進めるべきと考えるが、具体的な取り組みについて示されたい。

町長 地区計画は都市計画マスタープランにその活用を示すことが必要であることから、今後、検討委員会でマスタープランの改定を進め12月をめどに内容を議会に示す。パブリックコメントを実施し、今年度中に町都市計画審議会に諮り、議会の議決を得られるよう進めていきたい。

質問 地区計画対象地域案として、①煙山・不動小学校周辺 ②20ヘクタールにおおむ

ね50戸の連たん地域（土橋・間野々）③国道4号沿線（産業等適地）④矢巾スマートインター周辺の4地区を考えているとのことであるが、変更はないか。

町長 現時点で変更はない。町が政策的に取り組むスマートインター周辺の計画については、土地所有者へのアンケート調査などにより意向を把握したい。説明会を実施し、対応していきたい。

直接支払交付金 廃止の影響は

農家への影響額は
約9000万円

質問 コメの生産調整に協力する農家に直接支払われていた交付金が、来年度から廃止になるが、農家にとっては大きな痛手となる。

その影響額はどの程度か。また、転作として小麦、大豆、園芸作物などを栽培しているが、産地交付金はいつ頃の程度の額が支払われる見

一般質問 町政を問う

込みなのか。

町長 影響額は約9000万円になると想定している。

また、産地交付金は10月に金額が確定し、12月に支払われる見込みであるが、昨年の支払い実績は6128万円余となっている。

質問 持続可能な農業への支援策は。

町長 地域振興作物のズッキーニ、ネギ、キャベツの産地化を推進し、作付面積拡大により、収入増につなげていきたい。



ズッキーニの産地化に取り組む東生産組合（東徳田2区）

子どもへの虐待を防ごう 早期発見に努める



おがわ ふみ こ
小川 文子 議員
(日本共産党)

質問 全国で子どもへの虐待が急増しているが、本町の状況はどうか。

町長 平成28年度は25人であり、身体的虐待が10人、心理的虐待が9人、ネグレクトが6人となっている。

質問 町民からの通報対応は。

町長 矢巾町子育て支援センターで受付し、受理会議を開き児童相談所に助言を求め支援を開始する。医療機関受診や福祉施設への保護が必要な場合は県への送致となる。

母子保健、福祉及び教育の関係課で連携を強め、早期発見・被害拡大防止に努める。

質問 町民への知識普及や町

への通報、児童相談所直通の電話189番の活用は。

町長 町民の方の力を借りなければならず、町広報でも周知したが、より通報しやすい体制を整えていく。



相談を受け付けている子育て支援センター(さわやかハウス)

町長 堤川目線が約7億円、宮田線が約1億5000万円である。

質問 堤川目線―宮田線ルートについて、建設時期、経費節減等見直しするべきでは。

町長 関連道路は平成30年度完成を目指して進める。

経費節減については、宮田1号線はボックス橋に変更、善助橋は架け替えでなく、橋梁の拡幅を検討している。ルートを見直す考えはない。

火葬場使用料の値上げは

火葬炉の経費増加

質問 火葬場使用料が4000円から1万円の値上げ案が示されたが、根拠を問う。

町長 火葬炉の維持補修経費の増加傾向が背景にある。

質問 黒煙対策はどのようにするか。

町長 来年度火葬炉の改修を検討している。

矢巾SIC関連

道路見直しを

経費節減を進める

質問 矢巾スマートインターチェンジ(SIC)関連道路の改修費用は。

国保制度の広域化中止を 健全運営を目指す



かわむらこ
川村よし子 議員
(日本共産党)



町内各地で行われている特定健診(高田コミュニティセンター)

質問 町民の命を守るためにも国保の広域化は中止し、国が責任をもって各自治体を支援するよう求めるべきでは。
町長 制度の財政基盤を強化し、運営を確保するための特定検診・特定保健指導・ジェネリック医薬品の使用促進等

を推進していく。
保険者として健康づくりや保険事業等に取り組み健全運営を目指していく。

質問 国保の広域化は保険料の値上げとなるのではないか。
町長 国は普通調整交付金や激変緩和措置等を行う予定である。

県は市町村に格差が生じない事業運営に必要な納付金の算定方法を検討し、町は、財政調整基金を活用することで保険料の増額を抑えていくことを検討している。

丁寧な対応を行っている。

質問 障害福祉サービス受給者は、介護保険優先原則により、利用料値上げや生活援助サービス見送りになるケースはないか。
町長 障害福祉と介護保険サービス内容を比較し、合うサービス利用をしていただく。

質問 保険料の値上げは、滞納者増加につながるのでは。
町長 現在算定中で今後パブリックコメントと説明会を行い、来年3月に示す予定。

安心できる 介護保険に 丁寧な対応に 努める

質問 「利用料が高くてサービスを減らした」「介護のため仕事を辞めた」等町民からの不満の声をどう考えるか。
町長 相談機関と連携を図り

安全な通学路 整備は 毎年5月に 関係機関に要望

質問 学校や交通安全母の会からの通学路の危険箇所の改善要望への対応は。
教育長 毎年5月に町の交通安全対策協議会で現場調査し、関係機関に要望している。

安全安心なまちづくりを 防災士の資格取得が必要



ふじわら うめあき
藤原 梅昭 議員
(一心会)

質問 東日本大震災被災者・被災地への継続支援を。

町長 町内被災者は半減し80人ほどで、被災地と併せて支援を継続していく。

質問 農産物への放射能風評被害対応及び支援を。

町長 原木シイタケ生産者への原木及び種菌に係る費用の半額補助を、引き続き行う。

質問 町内河川の災害対応は。

町長 岩崎川改修工事は、51・5%、太田川及び芋沢川についても早期整備が必要。

質問 逆堰の排水対策は。

町長 排水ポンプの設置を国に要望。



矢巾東小学校で行われた県の防災訓練

質問 災害時の、要支援者リスト及び避難対応について。

町長 避難行動要支援者は、昨年度末で1202名。うち150名について同意を頂き台帳登録し避難に際しての個別支援計画を作成している。町内9法人15事業所と福祉

避難所の設置協定を締結。

質問 気象台とホットラインでいち早く正確な情報収集を。

町長 4カ所とホットラインがあり、さらに町職員による防災士の資格取得の必要を感じている。

地球温暖化への対応状況は
全国5番目のモデル
事業にて強化推進

質問 大雨災害の主な要因の、地球温暖化対応と、今後の計画は。

町長 温暖化主要因であるCO2の削減は喫緊の課題であり、太陽光発電等再生可能エネルギーの普及や、省エネルギーに取り組んでいる。

全国5番目の国のモデル事業を活用し、公共施設等の照明器具のLED化、再生可能エネルギーを有効活用できるシステムの構築に着手する。

質問 街灯・防犯灯のLED化の推進状況は。

町長 補助事業を活用し、今後さらに推進したい。

質問 クールビズ期間を、5月～10月までに拡大しては。

町長 温暖化の進行や全国的な傾向を踏まえ、検討する。

町民との懇談会報告



6月に行われた懇談会では、町内3地区で47人の皆様にご参加いただきました。ありがとうございます。
懇談会でいただいた質疑の一部をご紹介します。

緊急速報の対策は

質問 全国的に災害が多いことから、防災無線やスピーカーによる緊急速報が必要と思うが。

回答 来年2月、有線放送が廃止される。その後の防災関連のお知らせは、防災ラジオ（有料で個人購入）とJ-Aから払下げされる屋外スピーカー及びラジオ局（ラヂオもりおか）を活用する考えである。

有線放送廃止後は

質問 有線放送廃止後も、現在使っている有線からお知らせが聞けると聞いたが。

回答 家庭内のスピーカーは撤去されるため、現在使っている有線からお知らせを聞くということはできない。

分かりやすい広報を

質問 議会だより200号の企業会計とは、もっと分かりやすい書き方はできないか。

回答 議会だよりで広報モニターを募集するので、ぜひモニターとして参加していただきたい。



多くの意見が出された懇談会（岩清水コミュニティセンター）

企業会計は理解が難しいが、今後自分たちも勉強しながらわかりやすい広報に努める。

田園ホールのチラシは

質問 田園ホールのチラシについて、若い人は興味がなく不要なのでは。

回答 田園ホールの稼働率は県内でも高い。チラシは指定管理者が制作しており、有効に活用されている。

交通に関する調査特別委員会

議会では、6月会議で交通に関する調査特別委員会（米倉清志委員長）を設置しました。これまでの協議経過と、これからの予定をお知らせします。

これまでの経過

第1回 6月21日

- ・岩手医大附属病院移転関連事業
- ・SIC整備事業
- ・地域公共交通会議
- ・遠距離通学費補助
- ・福祉タクシー

第2回 7月24日

- ・地域公共交通形成計画策定分科会の協議内容

第3回 8月9日

- ・道路網の整備
- ・通学路の安全対策等

第4回 8月28日

- ・（案）地域公共交通形成計画
- 以上4回にわたり説明を受けました。

これからの予定

9月12日に開催された第5回特別委員会において、多岐にわたる調査項目をより効果的かつ専門的に調査するため、3分科会に分かれて調査・情報共有を行うこととなりました。各分科会のテーマは次の通りです。

総務分科会テーマ

交通弱者対策について

産業建設分科会テーマ

・渋滞緩和に向けた取り組みについて

・道路網の整備について

教育民生分科会テーマ

通学路等の安全対策について

私も



ひとこと!

日々変化する社会に 対応する町政を

菅原 雪雄さん(太田行政区)



議会を傍聴する筆者

9月6日の一般質問と、13日の予算決算常任委員会(総務分科会)を傍聴いたしました。議員さんの質問に対して町長さん、教育長さん、各担当課長さん、係長さん方が真摯に丁寧な答弁しており真に町政の発展ここにありという思いがいたしました。

この質問がありました。この事案については条例制定されたようですが、そこで思うには思春期の子どもはデリケートな時期であり学校・保護者・地域の連携が不可欠と考えます。

いことから発生し陰湿なものだから、防止には道徳教育の実施、日常生活の規律(挨拶・礼儀)、倫理等社会的な価値を身につけることにより善・悪の判断ができ正義感に満ちた人間育成につながるのではと思われました。

今後さらに町民と一体となり進化する社会に対応する町政をご期待いたします。



タブレット利用により、迅速な情報共有が可能になった

追跡

あの質問はどうなった

過去に質問したことがどうなっているのか調査しました。

ICTを活用した広報・広聴活動の充実を

(平成28年9月定例会)

質問 現在は情報化社会であり、情報インフラ整備が重要であると考えるがどうか。

回答 情報発信の重要性は認識しており、議会で強化したいという要望があれば前向きに捉えていきたい。

現在は

議会からのお知らせ

まちの人



ズッキーニ畑でヤハポーズ！（筆者右側）



地域おこし協力隊

鈴木 俊太 さん（藤沢行政区）

何が出来るか模索する日々

花巻の厚生病院。僕はそこで産声を上げました。いわゆる里帰り出産ってやつです。岩手生まれの横濱育ちなので、ある意味Uターンですね（笑）母が遠野市の出身で幼い頃から毎年岩手に来ていました。じいちゃん、ばあちゃん、親戚に囲まれ楽しかった事が今でも心に残っています。そんな良い思い出が僕を移住に導いたのだと思います。

矢巾町について。正直、矢巾町の存在を知りませんでした。しかし来てみると不思議なもので、色々な縁によりここに来たのだと感じています。前職は東進衛星予備校という予備校で働いていたのですが、この小さな町の役場で、一番お世話になっている方が、元東進の方だったり、水道事業では横濱市と提携していたりと不思議と縁があることに気がきました。

自分では見えない「何か」に引かれて、矢巾にやってきたのだと思います。地域おこし協力隊になったのは、何か新しいことに挑戦してみたい、一度でいいから岩手に住んでみたいという気持ちからです。

やって来た当初は、あれもしたいこれもしたい、もっとしたい、もっともっとしたい。俺には夢がある、両手じゃ数えきれない！といった感じでしたが、今はいったん封印です。まずは町民の皆様とたくさん顔を合わせることからスタートです。

協力隊は何でも屋さんではないですが、今年はそれでも良いのかなって思っています。僕の顔を覚えてもらって、たくさんさんのことを経験させてください。自分の中の引きだしを増やしていきたいと思えます。

まだ町のために何が出来るか模索する日々ですが、一生懸命頑張りたいと思います。

あとがき

9月会議は、昨年度決算を審議する場でありました。我々議員は適正にお金が使われて、町民の福祉向上が図られているか確認しています。議会の責任は重大であります。議会だより編集に携わり2回目ですが、今後も皆さまの目に止まり、手にしていただけるよう努めます。

編集委員 赤丸 秀雄

表紙によせて

8月26日、田園ホールにて不動っ子の集いが開催されました。

舞台上に立った子ども会の皆さんの発表は、地域の伝統を受け継ぐ堂々とした姿でした。

発行・編集責任者

議長 廣田 光男

編集委員

委員長	昆 秀一
副委員長	齊藤 正範
委員	赤丸 秀雄
	水本 淳一
	小川 文子

